

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

万博中央駅完成式典

昭和60年3月8日撮影
牛久市所蔵



写真は万博中央駅改札口前広場で行われた完成式典の様子です。演奏、テープカット、くす玉割りのセレモニーの後、参列者に駅施設が披露されました。万博中央駅は「国際科学技術博覧会(科学万博)」(昭和60年3月17日〜9月16日開催)のために臨時に設置された駅で、1日最大20万人の乗降客に対応できるよう設計されました。

た。科学万博の雰囲気味わえるように、駅構内やホーム天井に天体写真をパネルで飾り付け、BGMを流し、駅職員の制服はライトブルーでした。万博閉幕後に駅は取り壊されましたが、その跡地には平成10年3月14日、新駅設置を望む地元の声を受け、ひたち野うしく駅が新たに開業しました。



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

開花期の樹冠:牛久自然観察の森
平成23年9月11日撮影



果実:城中町の林縁
平成15年9月17日撮影



第7回 クサギ

シソ科の落葉低木。全国の山野に分布し、牛久では林縁などで見られます。葉や枝に独特な臭気があり、臭い木の意味が名前の由来になりました。夏に枝端に多数の白色花をつけ夕方開き、ユリに似た甘い香りを漂わせます。花の蜜の場所が深いため、口吻(こうぶん)ストロー状に伸びた

(口)の長いガヤアゲハチョウの仲間が盛んに吸蜜に訪れ花粉を媒介します。秋には真紅色になったガクが星形に開き、青色で光沢のある6〜7ミリの丸い果実が現れます。鮮やかな色彩が目立ち野鳥の餌となります。名前に似合わず花と果実が美しいのが特徴です。

※牛久の里山樹木ハンドブック36ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。科名は新名称となっています。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章:小松友枝、写真:樹冠 戸塚昌宏(果実 渡辺 奏))

文芸さろん | 文月 |

稀勢の里勝利をかざれ頑張れや 月田さん
梅雨ぞらに傘も持たずに二人連れ 小山さん
長寿会はなうえ楽しとし忘れ 枝さん
雨あがり道いっばいの子らの声 ヒロシ
お経聞こゆ紫陽花眺む人寺賑し 岡村さん
身のまわり整理せねばと思いつつ
八十路の日々は今日も暮れゆく 坪井さん
山ふじは遠くで見ても心ひく
やぶにそびえるたいぼくにまく 木村さん



◀牛久キャラクターズ
ペンネーム:リー

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512
E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)